

今年度のハンディクラフト部門は、手仕事フェスタから始まります！

昨年度のハンディクラフト特別会計は、販売先が増えたこともあり予想以上の売り上げとなりました。1月からは水野さん、小林さんなど担当のアルバイト、ボランティアも増え、製品や販売先開拓について様々な提案が出されています。その一つが日本や世界各地の工芸品を扱うお店への営業。その第一歩として、6月に開催される「手仕事フェスタ」に参加することになり、準備を進めています。アジアの様々な手仕事・手芸を紹介する楽しいイベントで今年で4回目。染織、家具、キリムのショップや作家が25も集まります。皆さまもぜひお誘いあわせの上、お越しください。



洋服にも和服にも合う
ティナラク織製 M バッグ

- バイヤーズデー 6月9日(木)13時～17時
- 一般開放 6月10日(金)～12日(日)10時半～17時
※バイヤーズデーは招待状が必要です。9日午後しかご都合がつかないという方、お気軽に HANDS 事務所までご連絡ください。

●ハウスクエア横浜 1階イベントホール(住まいの情報館内)
〒224-0001 横浜市都筑区中川一丁目4番1号
TEL: 045-912-4110 FAX: 045-912-4711
横浜市営地下鉄ブルーライン中川駅下車出口1より徒歩3分

今回、東日本大震災の被災地域応援のため、東北の手仕事を紹介する企画も急遽計画されました。福島、宮城、岩手などに伝わる伝統的な民芸品の紹介やいわき市、相馬市などに住む工芸家の作品販売、三陸をはじめ東北各地の物産の販売、また震災前の石巻で撮影された、お菓子が紡ぐ希望の物語「お菓子放浪記エクレール」上映会も予定されています。その他、アフガニスタンやインド民族音楽のライブ、チャリティオークションなども。詳細は今後ウェブサイト <http://teshigoto-sui.com/> に掲載されます。どうぞお楽しみに！

なお同じく6月中には、国府津の「ちえのわハウス」での展示会も昨年に続いて予定されています。詳細については HANDS ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



帯地として好評の
ナバルタビ織

～東日本大震災被災者へフィリピン NGO から募金～

3月11日の震災はフィリピンでも連日ニュースになりました。HANDSも参加する日比 NGO ネットのフィリピン側パートナーであるPJP加盟団体内で募金を集める動きが早急に始まりました。これを受けて日比 NGO ネット事務局では被災地の状況や支援活動について PJP へ伝えて、支援先を紹介する活動を始め、私もその手伝いをしています。「今まで支えてもらったから今度は私たちの番」「日本は経済大国でも今回の震災は誰も心の打ち砕いた」「少額でも被災者に寄りそう気持ちを届けたい」。PJPメンバーから寄せられた募金は、日本円にして総額60万円になりました。フィリピンでは300万円から600万円にも相当する額です。募金は、被災した妊産婦や乳幼児、フィリピン人をはじめとする外国人被災者への支援活動に役立てられる予定です。未曾有の災害へは中長期的な支援が求められ、フィリピンの仲間たちも今後を協議中と聞いています。

私は手伝いの合間を縫って4月半ばに仙台の親戚を訪ね、自分の生まれた塩竈市の災害ボランティアセンターの引越しと一般住宅の片づけを手伝ってきました。幸い親戚は皆無事でしたが、いとこは同僚を津波で亡くし、遠い親戚の家も流され、いとこの連れ合いの職場も被害を受け、余震と原発に怯える毎日。夜眠れないので昼間仕事に疲れやすくて、とこぼしていました。お手伝いに伺ったお宅では、避難所から自宅に戻るため、布団を敷く広さだけ畳を入れ、食器を洗い、廊下を片づけて。泥が浸み込んだ畳をやっと上げるお宅もありました。がれきの下にはまだ大勢の犠牲者の方がいらっしやるとも聞きました。今後も時々東北を訪ねながら自分のいるところで応援しようと心に誓って帰宅しました。この震災で被災された方、影響を受けた方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の皆様のご無事と一日も早い復興をお祈りするとともに、お亡くなりになられた方々、愛する人々を失った方々に哀悼の意を捧げます。(鈴木)